

1年間の学習の成果を発表

公民館まつり



1年間の学習の成果を発表する「生涯学習フェスティバル公民館まつり」が3月6日・7日の2日間、中央公民館等で開かれました。
自主グループや公民館主催の講座など27団体の会員が、300点以上の作品展示を行い、訪れたかたの目を楽しませていました。



また、ファミリーコンサートでは、コンフォート・ロス・クラカケスグループによる中南米の民族音楽などを披露。さらに、書き初めなど作品展示入賞者の表彰式や28団体による芸能発表、今回初めて行われた地震体験、子どもの集い、模擬店、茶会、軽スポーツなど多彩な催しが行われ、多くの人でにぎわいました。

新しい生活に向けて巣立つ140人

明和中学校卒業式

明和中学校の卒業式が3月12日、同体育館で行われ140人が同級生や恩師らとの別れを惜しみつつ、4月からの新しい生活に向けて巣立つて行きました。
鐘田校長は式辞で、「自分の可能性や熱い心を持つて、夢の実現に向かっていってください」とはなむけの言葉を贈りました。
式終了後、卒業生は恩師や保護者、在校生の大きな拍手に送られ、それぞれ夢に向かって学舎を後にしました。



課題研究でふるさと紹介

館林商工高校



館林商工高校の生徒10人が、明和町と館林市の物産や名所・旧跡、飲食店などの情報を「館林&明和ふるさとガイドブック」にまとめました。
冊子は、3年生による課題研究の授業の一環で、2千部作製。生徒が学んだ技術を生かして地域貢献をテーマに企画し、取材や編集、校正などに取り組み、貴重な体験を通じて1冊の本に仕上げたものです。本には、町特産品の果物や花き、公共施設、飲食店などが紹介されています。